

22年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

7月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4~7月				改善プラン		所管課確認	
						指定管理者の自己評価		所管課評価		時期	内容	対応状況	次年度対応
						評価区分	コメント	評価区分	コメント				
1	6-26	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	B	防災センター等関係者間との連絡を密にとるなど、日頃からコミュニケーションを欠かさず、緊急時でもおちついた速やかな行動ができるよう心がけている。毎日AED機器点検を行なった。	B	漏電があったが、防災センターや保守業者との常に連絡を取っており、混乱なく対応して日ごろの成果が出ている。	無			
2	6-24	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	職員一人ひとりが個人情報の重要性を認識し、個人情報の取扱については、財団個人情報保護規程を順守し保護にあたっている。	B	個人情報保護について細心の注意を行うこと。また、個人情報の取り扱いに関わる全職員に対し徹底的にマニュアルの熟読とともに注意を呼びかけること。	無			
3	2-10	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	公開抽選会を実施するなど、公平性を保持。利用案内、ホームページなどで情報公開し、申込や利用時の約束事を理解いただき施設利用いただいている。	B		無			
4	1-7	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	B	専門性の高い分野に関しては、より適正な管理運営に資するため、第三者委託をしている。水準については適正と判断している。	B		無			
5	6-21	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B	ゴミの分別や環境への配慮について意識を持って行動している。	B		無			
6	3-13 3-14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズを適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	B	限られた予算での対応を迫られ苦慮しているが、各施設の不良箇所を適宜修理するなど、緊急度の高いものが修繕している現状。	A	小ホール案内表示を改善し、限られた予算の中で工夫をしており評価できる。	無			
7	3-12	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活発化(参加人数の増加)への取り組み	報告書	B	毎週ロビーコンサートを無料で実施し、出演者には発表の機会の提供をすとも、来場の方々にプロではないが、幅広いジャンルの音楽を提供している。なお、7月開催の「マシューアレン・チェロ・リサイタル」については、カサド実行委員会の構成団体として参画した。 実施の自主事業は次のとおり 4月「春風亭昇太・林家たい平二人会」 5月「積木劇場XUXU」 6月「オーケストラと歌う市民合唱コンサート」 7月「松竹大歌舞伎」 「ジャン＝マルク・ルイサダ ピアノリサイタル」	B		無			
8	3-17	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	ホームページによるPR 催物案内による開催イベント等の周知	B	舞台スタッフがほめられていることなどから様々な面でサービスが向上していることが伺える。サービス内容をもっとPRし利用者増につなげることを期待する。	無			

22年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

11月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	8~11月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	6-26	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	B	防災センター等関係者間との連絡を密にとるなど、日頃からコミュニケーションを欠かさず、緊急時でもおちついた速やかな行動ができるよう心がけている。毎日AED機器点検を行なった。	B		無				
2	6-24	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	職員一人ひとりが個人情報の重要さを認識し、個人情報の取扱については、財団個人情報保護規程を順守し保護にあっている。	B		無				
3	2-10	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	公開抽選会を実施するなど、公平性を保持。利用案内、ホームページなどで情報公開し、申込や利用時の約束事を理解いただき施設利用いただいている。	B		無				
4	1-7	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	B	専門性の高い分野に関しては、より適正な管理運営に資するため、第三者委託をしている。水準については適正と判断している。	B		無				
5	6-21	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	A	LAS-E研修については、全職員が受講するよう計画的に研修を実施しており、他方で、ゴミの分別や環境への配慮について意識を持って行動している。また、館内の電球の一部をLED電球に交換し省エネ対策を講じた。	B		無				
6	3-13 3-14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズを適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	A	限られた予算での対応を迫られ苦慮しているが、各施設の不良箇所を適宜修理するなど、緊急度の高いものが修繕している現状。また、車椅子利用者や高齢者のニーズに応えるため、サービス介助士2級資格を3名が取得した。	A	更なるバリアフリーサービス向上向上に期待する。	無				
7	3-12	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活発化(参加人数の増加)への取り組み	報告書	B	毎週ロビーコンサートを無料で実施し、出演者には発表の機会の提供をすとともに、来場の方々にプロではないが、幅広いジャンルの音楽を提供している。また、10・11月に開催をした「第60回市民文化祭」については主催者の一員であったため、下士官として手厚く協力した。 8月「押井守 講演会」(夢美への協力) 9月「きらめきクラシックシリーズ2010」2公演 10月「きらめきクラシックシリーズ2010」1公演 「フレッシュ名曲コンサート」 11月「うた自慢フェスティバル=予選=」	B	ロビーコンサートは、かなり定着しており、今後も地域の交流とともに取り組んで欲しい。	無				
8	3-17	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	ホームページによるPR 催物案内による開催イベント等の周知	B		無				

22年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

3月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	12~3月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	6-26	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	A	防災センター等関係者間と連携を密にとるなど、日頃からコミュニケーションを欠かさず、緊急時でも落ち着いた速やかな行動がとれるよう心がけている。 3月11日に襲った「東北地方太平洋沖地震」においては、利用者の安全確保に向けた日頃の注意喚起が各職員のみならず防災センターも含めて浸透していた結果、事故なく対応が出来た。引き続き余震が続くが、利用者への安全安心及び危機管理を意識し今後も対応をしていく。また、平成23年度より防災センターを直営化するための準備を進め、施設管理において強固な体制を目指していく。 毎日AED機器点検を行った。	A	震災対応について、防災センターとの連携による適格な案内アナウンス等により、来場者の避難誘導を安全かつ的確に実施できた点を評価	無				
2	6-24	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	職員一人ひとりが個人情報の重要性を認識しており、その個人情報の取扱いにあたっては、財団個人情報保護規程を遵守しているところであるが、市民からの情報の提供に関する要望に対しては、全て個人情報を理由にお断りするのではなく、適宜対応するよう周知をしたところである。	B		無				
3	2-10	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	A	毎月1日公開抽選会を実施することで、利用者に対して公平性を保持している。また、利用にあたっては、施設利用案内やホームページ等を活用し情報公開を行うとともに、申込や利用時の約束ごとを理解いただき、定められたルールの下幅広く施設利用いただいている。 なお、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」のため、大小ホールでは利用の自粛をお願いするとともに、その他の諸室では夜間利用を中止することとなった。その対応については、各施設の利用者に連絡をとり、希望に沿った形での選付及び利用日変更の適切な対応を行った。	A	抽選について適切なマニュアルに基づき、利用の公平性の確保を図っている 選付件数159件と、多数の利用者に利用中止と選付についての説明を十分に実施した点について評価	無				
4	1-7	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	A	高い専門性を必要とする業務に関しては、より適切管理運営に資するため、第三者に委託をしており、その水準は適正であると判断をしている。また、より効果的な施設管理に資するため、防災センターの業務を平成23年度から直営にするための準備を進めており、更に効果的なサービスが提供できるものと考えている。	B	第三者委託業務について、委託業者との調整を適切に実施し、業務報告書を確実に提出させている 防災センター直営化の効果は平成23年度以降に確認していく	無				
5	6-21	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 L A S - Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B	職員には、配布済の「環境マネジメントシステムハンドブック 平成22年度版」を理解のうえ、ゴミの分別や環境への配慮について意識をもって行動するように指示をしている。また、今年度他館が監査対象施設となったことも踏まえ、再度各施設に対して「ハンドブック」を熟知・活用するよう再確認をした。 また、計画停電以外、全館あけて節電にむけ不要な照明等の消灯や、エレベーターの使用中止など、利用者のご理解・ご協力のもと節電に取り組んだ。	B		無				
6	3-13 3-14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	B	限られた予算を有効に活用し、各施設の不良箇所の改修に努めており、その改修にあたっては、安全安心の見地から緊急度の高いものから行っている。	B	引き続き、施設の安全状況について市に報告し、対応内容について協議すること	無				
7	3-12	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取り組み	報告書	A	毎週土曜日にロビーコンサートを無料で実施し、出演者に対しては発表の機会を提供するとともに、来場の方々にはプロではないものの幅広いジャンルの音楽の提供に努めているところである。(震災後のロビーコンサートの開催は見合わせた。) また、財団の自主事業として、以下の事業に取り組んだ。 12月 八王子音楽祭2010 4件 八王子うた自慢フェスティバル本選 1月 能・狂言を楽しむ会 第15回八王子映像祭 斉藤耕一監督作 2月 侍BRASS2011 市民劇団 八王子シアタープロジェクト 八王子に伝わる江戸の絆・車人形 3月 2011八王子ふれあいこどもまつり GEORGE = ジョルジュ = (震災により中止) なお、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」の影響により、1本の自主事業の中止を余儀なくされたほか、新年度の自主事業等で中止となった事業のチケット払い戻しについては、購入者の要望に沿った形での払い戻しについて適切に対応をした。	B	ロビーコンサートに積極的に取り組んでおり、震災における対応も利用者の立場となり誠実に対応していた。	無				
8	3-17	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	ホームページを活用したPR活動を図るとともに、館が作成をしている「催物案内」で開催イベント等を周知している。利用者からの「催物案内」に対する反響も大きくなっている。また、平成23年度からは情報紙「ららら」の発行部数を20万部から21万部へと増刷することとなり、更なる利用促進を目指していく。	B		無				

22年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
1	6-26	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	B	防災センターなどの関係者との連絡を密にとっており、緊急時に適格な対応を行っている。	
2	6-24	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立	マニュアル 担当者へのヒアリング	B		
3	2-10	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	定められたルールのもとに、公平な施設利用を行っているとともに、利用者の立場に立ったサービスを心掛けている。	
4	1-7	7.11.3	効果効率的な施設の管理運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	B		
5	6-21	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 L A S - E にそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	A	環境マネジメントハンドブックを活用した取組みを積極的に行っていること、また、LED電球への一部交換に積極的に取り組んだことについて評価	
6	3-13 3-14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズを適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	B	施設改修を限られた予算で効果的に実施している。	
7	3-12	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活発化(参加人数の増加)への取組み	報告書	B	引き続き、特色ある自主事業の実施と情報の発信が、館の特色の明確化と市民への認知につながる点に留意しながら、事業内容を検討・実施することを期待する	
8	3-17	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	財団の情報紙やホームページの活用に加え、館の特色をふまえた新たな利用者の開拓につながる方策を、中長期的観点で検討することを期待する	